

「資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応」について

2024年4月

カンロ株式会社

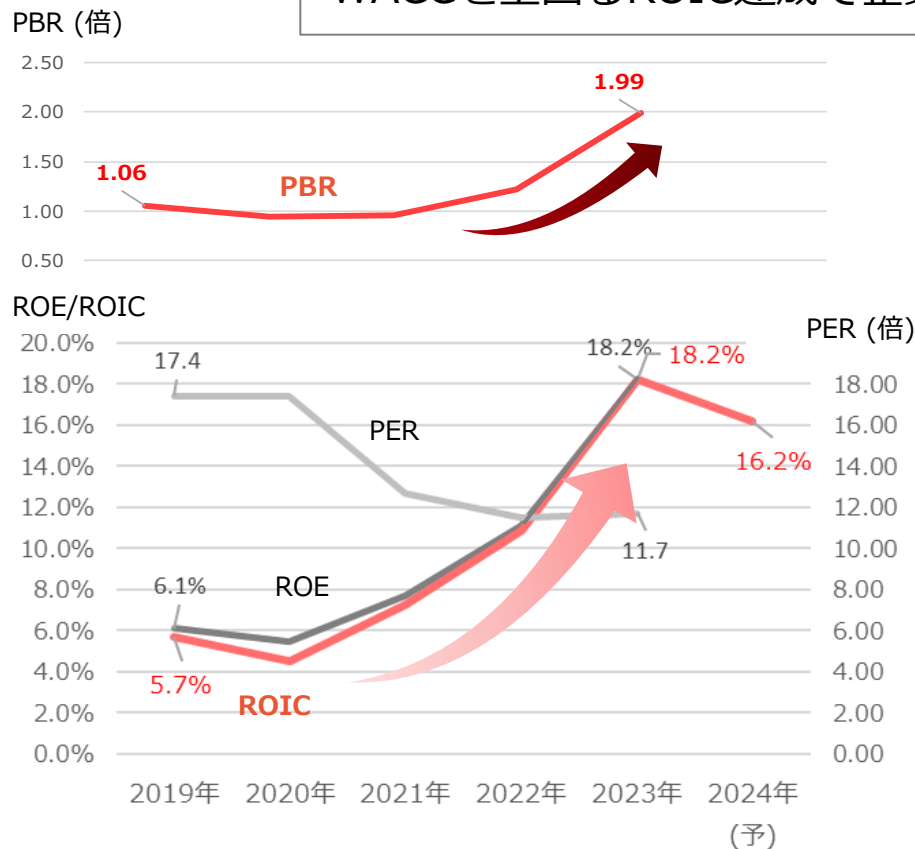


東証の要請に対する当社の対応状況

項目	東証の要請	当社の対応状況
現状分析	自社の資本コストや資本収益性を的確に把握	<ul style="list-style-type: none">● CAPMおよび流動性リスクを加味して資本コスト(WACC)を算出● 資本収益性(ROIC)を算定、WACCと比較してROICの水準を評価。
	その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価	<ul style="list-style-type: none">● ROIC改善に向けて、全社指標であるROICを現場レベルに落とし込んだ重要指標 (KPI)の進捗状況を取締役に報告。● ROIC/ROE等の資本効率性やPBR/PER等の資本市場の評価に関する指標を他社と比較して取締役会に報告。
計画策定・開示	改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取組みを取締役会で検討・策定	<ul style="list-style-type: none">● ROICについて、現行中計の最終2024年度の目標値を2022年度に設定。
	その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示	<ul style="list-style-type: none">● 上記事項について決算説明会資料や個人投資家向け会社説明会資料にて開示。
取組みの 実行	計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進	<ul style="list-style-type: none">● ROICがWACCを上回るためのROIC経営を推進 (詳細は次頁を参照)
	開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施	<ul style="list-style-type: none">● 決算説明会や個人投資家向け会社説明会でROIC経営の概要を説明。● 機関投資家との個別面談で投資家の期待リターンをヒアリング。

資本効率性・株価指標の推移とROIC経営の具体的な取り組み

WACCを上回るROIC達成で企業価値創造を実現します



現状

- 企業価値向上に向けたROIC経営を推進
 - KanROICツリーによるKPI管理
 - B/Sマネジメント（政策保有株式縮減）
 - 資本コストを基準とした投資採算基準運用
 - 事業ポートフォリオマネジメントへの活用

今後

- ROIC経営による規律ある成長投資の実行（次期中期経営計画においてKV2030実現に向けた成長ストーリーを発信）
- 経済価値と社会価値の同時実現
- 株主・投資家との対話推進及び情報開示の拡充